

工房の日々

9 月になり、朝・夕と少し涼しくなったものの、日中は 30℃を超えるほどの残暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

4 月から入退院を繰り返しながらでも週 4 の工房での勤務を続けてくれているスタッフの A さんもほぼ半年経って、工房の日々の掃除・当機関誌の発送業務、消耗品などの買い出しなどの必要な業務や所員さん一人ひとりの障害の特性やパソコンの習熟度に合わせた毎日の研修での指導業務にも少しずつ慣れてきてくれています。

今では失語症の障害で漢字の読み取りが困難な B さんのふりがな付きのテキスト作りや Web サイト「市民活動の広場あまがさき」に掲載するための「市報 あまがさき」や市内の公民館などに配布されている催しやイベントのチラシに記載されている情報のサイトへの入力業務をして貰っています。

B さんのテキスト作りも A さんなりに楽しみながら「今度は国産の新米のイラストや美味しそうな柿・サンマとかのイラストを入れながら秋の味覚の産地とかを入力して貰うようなテキストを作ろうかなあ」「秋が終わったら、今度は紅白歌合戦の時期になるから、紅白に出場する歌手が歌う曲の歌詞を入力して貰えるテキストも面白そう」とあれこれと考えて作って貰っています。

以前は、B さんも私の「仕事量」のことを絶えず気に掛けてくれてはったようで、片道 1 時間ほどかけて、工房に通所されて来られています。私が頻繁にテキスト作りの作業をしなくてもいいように、どうやら毎日の作業時間を 30 分に調整してくれていたようです。

でも今は A さんが常に大量にテキストを作って印刷してくれているので、B さんもそれに応えてくれるように毎日 1 時間近く頑張って Word での入力練習をされています。

B さんの入所当時、キーボードやマウスの使い方も慣れていなく午前中いっぱいかけて、10 文字ほど入力するのがやっとでしたが今では、1 時間で半ページは入力できるようになられて、私が少しアドバイスをただけで「分かった 分かった」とうなずきながら、ご自身で Word 文書にイラストを挿入できるようになりました。

毎日、B さんと研修させてもらっている私にとっては、B さんの上達ぶりがとてもうれしく、日々研修指導していく上での励みになっています。

A さんも身体に気をつけて、好きなカラオケを楽しみながら、工房での勤務に励んで貰えたらと思っています。

今後の予定

10/14(祝) 体育の日

10/22(祝) 即位礼正殿の儀

※来月の 14 日と 22 日は、祝日になるので、工房も休所日となります。

11/10(土) ミーツ・ザ福祉

10:00~16:00

橘公園野球場

※カレンダー・ポストカードなどの当工房のオリジナル自主製品とクッキー・かりんとう等の東北作業所の物品を販売します。

ふらっと写真散歩

工房の盆休みを利用して、京都の梅小路公園にある「鉄道博物館」にカメラを持って行ってきました。館内では昔のSL 機関車や初代新幹線、ブルートレインなどの寝台列車が数多く展示されていました。当日、京都市は39℃の猛暑日でしたが、家族連れや鉄道ファン、写真愛好家などで賑わっていました。ふっと気がつけば、私も鉄子になりきった気分で写真を撮るのに必死でした。（曲 圭子）



みんなで応援しましょう。東京2020

前回の「ボッチャ」に引き続き、今回は「パラ水泳」をご紹介します。

神戸と京都に多くのパラ水泳選手を輩出している障害者水泳チームがあり関西出身のパラアスリートの活躍が多くみられる種目です。一人ひとりの障害の特性に応じた泳法で、健常者の競泳選手に負けないほどの力強く泳ぐということパラ水泳の魅力でもあり、見どころでもあります。

< 水泳 >

基本的なルールは、一般の「競泳」と同じルールですが、障害レベルのクラスによっては、「スタート」、「ターン」、「泳法」などのルールが少し緩和されます。

また、視覚障害がある選手には、ターンのときにコーチがタイピング棒を使って、ターンをするタイミングを合図することが認められたり、重度の肢体不自由の選手には水中スタートやスタートのピストルが鳴るまでの間、コーチや介助者にスタートの姿勢を維持するために支えて貰ってのスタート「フィートスタート」が認められています。「キック」の力だけで泳ぐ選手も片手だけでバタフライを泳ぐ選手も背泳ぎを両手を使って泳ぐ選手もいるので、見どころ満載な競技のひとつです。



フィートスタートの風景です